

## 軌條更換作業グラフ……(3)

### 輸送力の増加に應ずる 鐵道省の軌條更換作業

100封度軌條延長320米突を僅かに30分間位に更換する基準作業を順を追ふて30餘個の寫眞に納めたものである。

〔二月號より掲載の總説の更概は次の如し〕

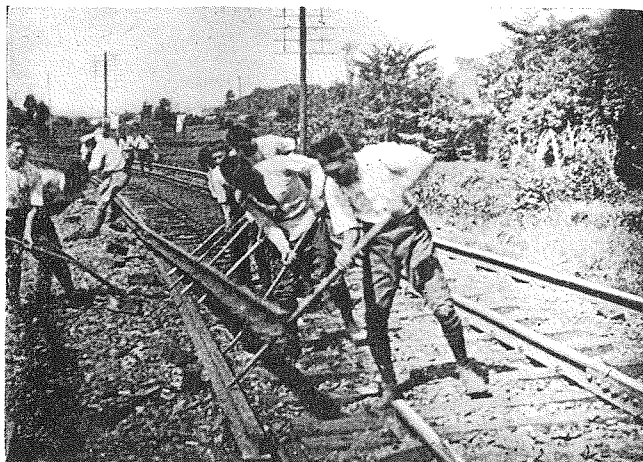
我が國の鐵道發達の過程は偉大なる進歩を示してをる、然るに鐵道輸送量の増加に比し線路の強度は至つて貧弱である、其結果軌條及附屬品の毀損率が著しく増加して來た、そこで鐵道省では主要幹線の一部を100封度(50疋)に更換しつゝある。

此の軌條更換の作業は列車運轉時間の僅かの間に完全正確な仕事を成す爲め、更換作業は規律正しい順序を又機敏なる臨機の處置を

を必要とする。(以上)

尙ほ前號迄には軌條更換グラフとして昨年の御大典前の九月上旬東海道本線御殿場驛附近に於て、在來75封度軌條を100封度軌條に更換した實況の一部を第23圖まで示した。

此の作業状況は活動寫眞フィルムに撮り鐵道省以外の保線作業に參考として好評を博せるものであるから第1圖より連続的に参照され度い。(編者)



No. 24

舊軌條押出係は作業順調に進み、今や全部の軌條を出し了らんしてゐる。

此の組は次に再び始點に走り戻つて、外側軌條の犬釘で、未だ打つてないものを終點へ向つて完全に打ち進んで來る事になつてゐる。



No. 25

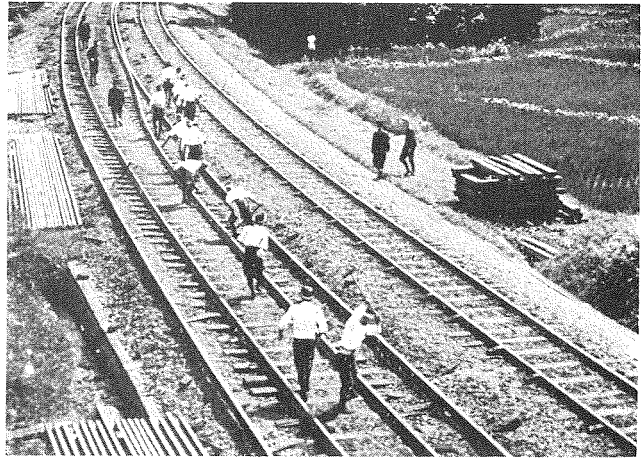
込栓係は軌條押出係の直ぐ後に續いて作業し來り、内側軌條の分を了らんしてゐる  
此の作業は如何にも樂であるかの様にも見えるが、始終腰を屈めてゐるので却つて一番疲れる相である。

此の組も次に再び始點に走り戻つて、之れは内側軌條の犬釘で、未だ打つてないものを順次打ち進んで來る事になつてゐる。

No. 26

新軌條押入係と同移動止犬釘打係とは、何時の間にやら作業も進んで、内側軌條の分も最う僅かに出来上る様である。

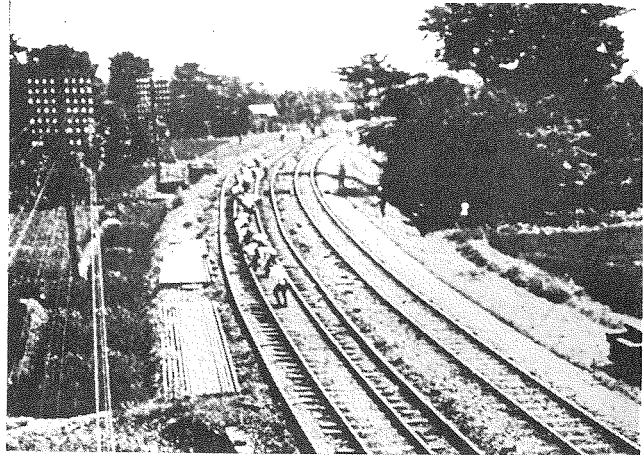
此の作業が済むと、新軌條押入係は外側軌條の犬釘を、又移動止犬釘打係は内側軌條の犬釘を、終點の方から始點の方へ打ち進んで行くのである。



No. 27

外側軌條の犬釘を始點から打始めた者も、終點から打ち初めた者もが、途中で出逢つて外側軌條の犬釘を完全に打ち終つたので、遅れた内側軌條の方に協力して、茲に全く軌條の更換が了るのである。

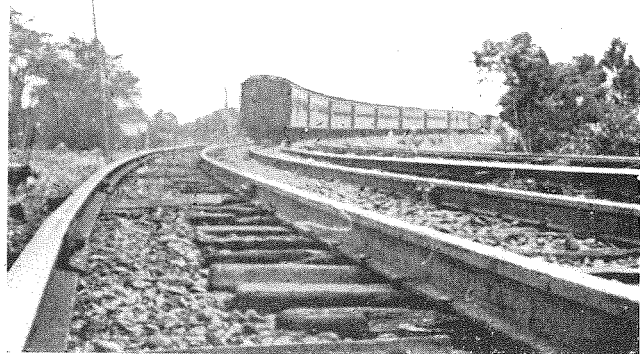
最初外側軌條の犬釘に着手してから全部が完了する迄長312米 兩側軌條の更換が僅々29分程で出来上つたのである

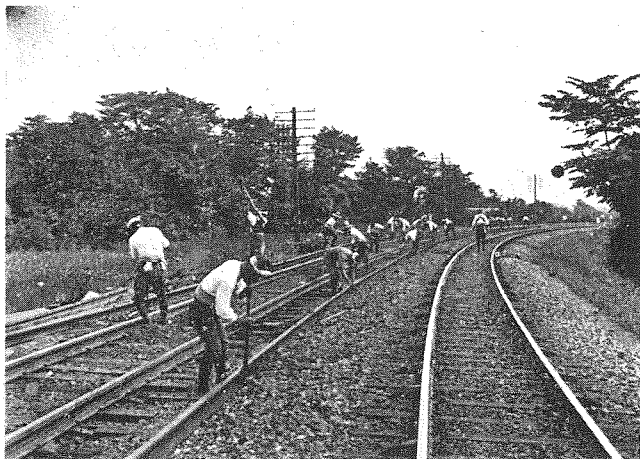


No. 28

更換作業が済むと指揮者は軌間や犬釘の状態を精密に検査する。

新しい軌條の上を列車は懸念なく通過し去る。





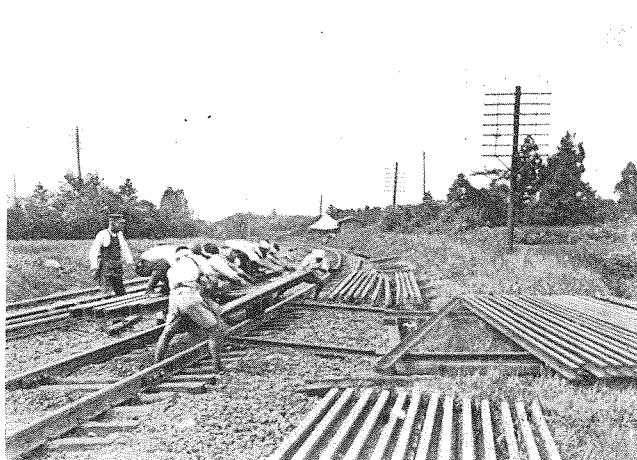
No. 29

跡片付作業——軌條の更換が済むこ或る者は舊い軌條の接目を切離し、或る者は犬釘を整理し、或る者は枕木を動かして新しい位置に正す等の作業に取りかゝる。



No. 30

舊軌條取片付け（其の一）  
「トrolley」に積み込み置場へ運搬する。

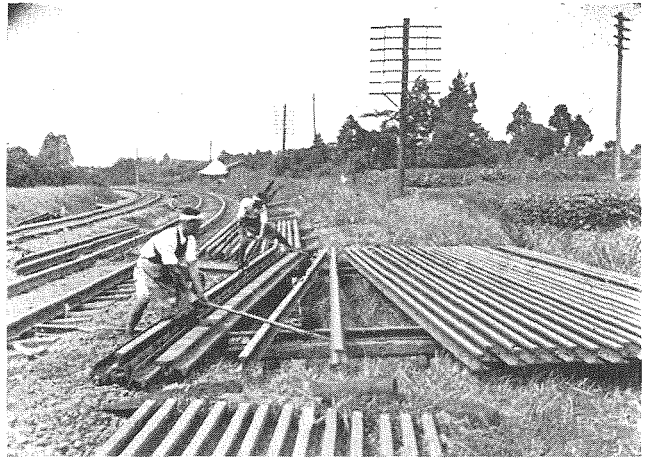


No. 31

舊軌條取片付け（其の二）  
「トrolley」より取卸ろし。

No. 32

舊軌條取片付け(其の三)軌條整頓。



No. 33

枕木の位置直し——新舊軌條の長さが異つてゐるまきは前の枕木の位置では新軌條のものに合はない。其れが爲めに全部の枕木を動かして、所定の位置に直すのである。

軌條の腹部に附いてゐる白い印が新しい枕木の位置を示してゐるのである。



No. 34

みつしりこ座つた新重量軌條の威容。

